

2013.8.23発行

No.31

まひの保育



発行者／愛媛県保育協議会
会長／伊東 道子
編集責任者／大野 京子

発行所／愛媛県保育協議会
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県社会福祉協議会内



五城保育園

先生、つーかまえた！

「時代を見つめて」

愛媛県保育協議会会長 伊東 道子



平成二十五年度は役員の改選期です。新理事が選出され、気分も新たにスタートしました。県保協の活動については『えひめの保育』やホームページを通して情報を発信し、研修会を通じて保育の質向上に努めていきたいと思います。

さて、国では「子ども・子育て支援法」の平成二十七年四月施行を目指して、本年四月二十六日には第一回「子ども・子育て会議」が開催され、具体的な検討が始まっています。子育て支援の実施主体と位置づけられている市町村の状況はいかがでしょうか。愛媛県は今秋に開催予定ですが、市町に対しても「地方版子ども・子育て会議」の設置と会議への参画を要望し、子どもにとって最善の利益が実施されるよう働きかけていきたいと思います。

子どもにとって最善の利益が実施されるためには、保育の質の向上が求められます。そして、そのためには、人材確保が不可欠です。今年度、県保協が実施する研修会が一つ増えました。『保育士関係者交流セミナー』です。八月二十二日実施のこの会は、保育士の人材確保を目的としており、保育士を目指す学生も対象としています。待機児童解消のための都市部での保育所の増加や、認定こども園の増加、あるいは乳児保育・長時間保育の需要の高まりや、発達障害等加配保育士の必要性など、保育士不足はより顕著になってくるのではないかと考えられます。潜在保育士の再就職支援とともに、新規保育士の人材確保、及び就労継続を目指して、処遇の改善や働き甲斐を感じ魅力あふれる職場にすることも大切です。

また、制度の変化ももちろんですが、私たちに求められていることは、時代や地域のニーズを受け止め、柔軟な対応をしていくことだと思います。保育は人相手の仕事です。物や機械相手の仕事であれば、手順や工程が決まっています。工夫すれば成果も現れやすいのですが、人相手の仕事は、すぐに結果が出るものではありません。けれども、未来に向かって、笑顔を決してあきらめず、肩の力を抜いて、今私たちがやるべきことを大切にしていきます。

平成25年度愛媛県保育協議会役員

今年度の役員改選が行われましたので、次のとおりご報告いたします

会 長 伊東道子 副会長 大野京子・合田史宣・敷村一元・森 千春

常務理事 菅野慎二 監 事 長野千枝 石丸睦子

総務広報部会理事

No.	氏名	支部名	施設名	公私	正副部長
1	大野 京子	伊予市	なかむら保育所	公	正
2	青野 松一	西条市	わかば保育園	私	副
3	矢野 雅子	新居浜市	新居浜保育園	公	
4	山口スミ子	喜多郡	こぼと保育園	公	
5	西山正千江	大洲市	喜多保育所	公	

総務広報部は「えひめの保育」「ホームページ」の作成にかかわらせていただきます。保育をとりまく大きな変化を注視しながら、保育情報など掲載していきたいと思っています。

また、アンケートや各園の取り組みなど皆さまからの声も取り上げて、各支部でも活用していただけるような内容を発信できればと願っています。ご協力のほど、よろしくお願いします。

部会長 大野京子

調査研究部会理事

No.	氏名	支部名	施設名	公私	正副部長
1	合田 史宣	新居浜市	朝日保育所	私	正
2	鹿島 孝代	宇和島市	石丸保育園	私	副
3	菅野 良昭	西条市	古川保育園	私	
4	土井 圭子	今治市	今治虎岳保育園	私	
5	玉田 博子	伊予郡	松前保育所	公	
6	関本留美子	北宇和郡	松丸保育園	公	

調査研究部は、日頃子どもの育ちに疑問に思っていることや、保育にかかわる環境を一つの保育所だけで抱え込むのではなく、多くの保育所で共通の課題を拾い出して会員の皆様に資料として提供することが主な目的です。

こんなことを調べてほしい…と思う事がありましたら遠慮なくお申し出ください。よろしくお願いします。

部会長 合田史宣

研修部会理事

No.	氏名	支部名	施設名	公私	正副部長
1	敷村 一元	松山市	生石保育園	公民	正
2	中川恵津子	松山市	法龍寺保育園	私	副
3	川上美和子	四国中央市	川之江保育園	公	
4	金子 昌子	西条市	小松西保育所	公	
5	矢野 真理	今治市	乃万保育所	公	
6	原田 静江	松山市	南保育園	私	
7	中山 昭子	西予市	俵津保育所	公	
8	田村 洋美	南宇和郡	長崎保育所	公	

今年度の研修部は、メンバーがほとんど一新いたしました。

平成27年度の「子ども・子育て支援新制度」に向けての大切な時期です。研修部として、少しでも保育士1人1人の「個」の資質の向上につながり、それが保育士全体、保育所全体のレベルアップになるような研修を行っていきたいと考えています。

ご意見、ご要望があればお伝えください。よろしくお願いします。

部会長 敷村一元

実践研修部会理事

No.	氏名	支部名	施設名	公私	正副部長
1	森 千春	宇和島市	岩松保育園	公	正
2	藤田 晴江	四国中央市	東保育園	私	副
3	檜垣 良子	今治市	桜井保育所	公	
4	谷村すすえ	松山市	余土保育園	公	
5	高田香代子	八幡浜市	松蔭保育所	公	
6	増見 郁子	西宇和郡	伊方保育所	公	

実践研修部は、全国保育士会とつながりをもちながら研修に取り組んでいます。平成25年度事業の柱は

- ①子どもの豊かな育ちを実現するための取り組み
- ②保護者・地域社会の保育に対する理解促進のための発信
- ③保育の充実に向けた保育士会組織の強化と拡充

今こそ専門職として保育士バッジを胸に、「全国保育士会倫理綱領」を遵守し、保育を実践していきましょう。

部会長 森 千春

初級保育士研修会報告

県研修会のトップをきいて、フレッシュな二〇七名の参加者で六月十一日〜十三日に開催いたしました。今回のキーワードは「信頼関係」「自尊心」「愛着関係」でした。また、参加された方々の研修後のアンケートを掲載させていただきました。ご協力ありがとうございました。

質問事項につきましては、回答を掲載させていただきます。詳しい回答は、ホームページをご覧ください。講師の先生にお問い合わせてください。

講義Ⅰ

「保育士としての喜びと責任」

元小松東保育所所長 越智ミドリ

保育の出发点は、子どもの思いを受け止めること
「信頼関係の大切さ」「受け止め方」「認めること・ほめることの大切さ」「叱る時に気をつけること」など越智先生の体験を通じた講話は、素直に心に染みていきました。

講義Ⅱ

「こじばの育ちをどう育てていくか」

旭川荘南愛媛病院南愛媛療育センター

言語聴覚士・療育課長 鈴木啓

月齢ごと、年齢ごとの「言葉の発達」を鈴木先生のお子さんの発達記録を通して、わかりやすく示していただきました。配慮を必要とする子どもへの援助のあり方は、すべての子どもの言葉の育ちを育てていくことにつながります。



実技

「つながりあそび〜あそべやあそべ みなあそべ〜」

つながりあそび・うた研究所 二本松はじめ

つながりあそびを全員で体験しながら、あそびの中で二本松先生が大切にしている「いのち」の大切さを感じ、心が熱くなりました。抱っこ心地よさや手と手の温もりは保育園の子どもたちへのステキな「おみやげ」になったことでしょう。

講義Ⅲ

「二人の保育士として働くために」

社会人としての基礎が必要

能力開発システム研究所 曾我部礼子・尾山紀子

子どもたちが初めて出会う社会人として、保育士が正しい「マナー」を身につけることが大切です。保育園が社会に大きく扉を開いていく現実の中で、曾我部先生の愛情ある厳しさのマナー研修は新人保育士に「今」必要な学びです。

〈講義Ⅰ〉

〇実際の話を聞きながら、子どもたちの嬉しい気持ち、悲しい気持ちについて、考えさせられた。

〇信頼関係の形成につまづいていたので、自分の保育のあり方を見直す機会になった。

〇自分の保育を見直すいい機会、学びになった。特に「その子がその子らしく生きていく時にほめる」という言葉や「ほめる」ことについての内容は考えさせられた。

〈講義Ⅱ〉

〇言葉の発達を〇か月からの子どもの成長を映像で見て、とてもわかりやすかった。

〇療育面からのお話を聞けて貴重な体験ができた。発達を促える大切さがわかった。

〈実技〉

〇知らない先生たちとも笑顔でつながりあって楽しかった。保育で活用していきたい。

〇最初はあまり動けず声も出せなかったが、何回もするにつれ、自分の中がほぐれていくのを感じた。現場でも実践し、子どもとつながっていききたい。

〇「生れてきてくれてありがとう」という愛をもっと子どもに伝えていこうと思った。

〇歌遊びが苦手なので、今日の内容を取り入れて頑張っていきたい。

〈講義Ⅲ〉

〇わかっているようで知らなかったことも多く、自分の常識のなさを痛感した。

〇改めてマナーについて学ぶことができ、実践が多く、練習をたくさんできて良かった。人間関係を深めていくために活かしていきたい。

〈全般を通して〉

〇講師の先生方、準備等してくださった関係者の皆さまありがとうございました。

〇とてもステキな2日間でした。1人の人間になるための大切な時期にかかわるということに責任を感じながら、日々の成長を見守っていきたい。

〈質問〉

① 2歳児ですが、図鑑等で「ウサギは？ソウは？」と聞いても指差しがあったりなかったりで言葉もあまり出ません。良い遊びや援助等がありますか？

② 指差しがない子も、絵カードを並べて聞くと、取る子もいますから確認してみましよう。発語が遅い子も聴いてわかることを伸ばす必要があります。

・おうちでの様子の確認・手遊びはするか、体を動かすか。

・簡単なパズルのやり取りをする。目的は人から続けて事物を受け取ること。

・簡単な事物のカードを並べて先生の指示に従って取る練習をする。

・「取ってきてー」のようなお手伝いをたくさんしてもらいましょう。

② もうすぐ3歳。伝えたいこと、見たこと、聞いたことは言葉で伝えようとするが、挨拶がなかなかできません。無理強いはいしたくないと思いますが、対応法は？

③ 年齢相応の発達をしているが、ちよくちよく見かけます。まずはおうちではどうなのか？おうちの人はやっているのか？確認してみましよう。できたときに「おはよう、できたねー」「いただきます、できたねー」とほめてあげたり、子どもが気づくようなヒントをあげるようにしたらどうでしょうか。

① ②ともに心配であれば専門機関で検査を受けることも必要かも。園だけの対応でなく親の協力も必要なので、連絡や情報共有が重要なポイントになるでしょう。

《参加者からのアンケート》 一部抜粋

私たちの 取り組み

「未来という夢の種を育てる」

松山市 ゆめの森保育園

当保育園では、園名のように、子どもの持つ夢や可能性を大切に、子どもたちが夢をもった時、その手助けをする土台づくりとして環境づくりに力を入れています。



園庭の様子

一つ目は、子どもの創造性や主体性を育むための環境構成です。そのために遊具を撤去し、ビオトープや土山を設置しました。土山では友だちと一緒にソリ滑りを始め自分たちで考えた名もなき遊びを心ゆくまで楽しめます。川では、タライを船に見立て乗ってみたり、竹の樋をつないで水を流してみたり水遊びを盛り上げてくれます。そして、池では十種類以上の生き物を飼育しており、ガラスの窓から生態を観察したり、捕まえて触ってみたりする中で、「今日は○○しよう!」「明日は○○しよう!」と遊びの表情がとも生き生きしてきました。ものに満ち溢れた昨今、あえてものを与えるのではなく、自分たちで考える。そして、その方がはるかに楽しいんだということを日々の子どもたちの姿から改めて学ばせてもらっています。

二つ目は、体作り運動やヒップホップダンスを課内教室として取り入れています。体を動かす楽しさだけでなく体幹や筋力のバランスにも力を入れて取り組んでいます。ヒップホップダンスでは、専門講師を招き、運動会や発表会コンテストでの発表を目標に取り組んでいます。独特のリズムの中で体を動かすこと動きを模倣しながら動きについていくことは、スポーツや運動をしようという時に、これ以上ない効果を発揮してくれるでしょう。

子どもの可能性は無限です。これからも種をまき続けたいと思っています。



ヒップホップ

「力を合わせて地域の子育て支援を」

新居浜市 若宮保育園

昭和二十三年十二月に開設された「若水乳児院（定員四十五人）」と昭和四十四年に開設された「若宮保育園（定員四十五人）」が統合され《若宮保育園（定員百二十名）》として平成二十五年四月一日から新たにスタートをきりました。



新園舎

ただいています。新しい園舎は小学校や公民館と隣接していて、これまで以上に地域の方々との交流も盛んになることでしょう。

新園舎は明るく広々としていて、子どもたちは今まで以上にのびのびと園生活を楽しんでいます。バリアフリーで多目的に使えるホールや衛生的なトイレなど、時代にあった工夫が随所になされています。

子育て相談が、いつでもできる相談室があるのもうれしいことです。

また、「一時預かり保育事業」を新園舎で始めることにより、地域の子育て支援に努めるだけでなく、将来的なニーズに応えるため「夜間保育事業」が実施できるように専用の保育室も整備しました。

両園の引っ越しには新居浜市の公立園がみんなで協力しました。これからも公私二十五園が力を合わせて地域の子育て支援に取り組んでいきたいと思っています。



階段と子ども

愛媛県保育協議会会長表彰 おめでとうございます

No.	支部名	園 名	氏 名
1	四国中央市	市立金生保育園	鈴木 繁 美
2	新居浜市	市立新居浜保育園	矢 野 雅 子
3	西条市	社会福祉法人中川さくら保育園	越 智 久 夫
4	今治市・上島町	市立城東保育所	浜 田 栄 子
5	松山市	社会福祉法人松山隣保館保育園	高 岡 令 子
6	松山市	市立栗井保育園	太 田 久美子
7	伊予市	市立ぐんちゅう保育所	土 井 豊 美
8	喜多郡	町立くるみ保育園	高 橋 幸
9	大洲市	市立大洲保育所	家 野 美恵子
10	宇和島市	市立大浦保育園	川 井 昌 子

「愛媛県保育協議会助成金」 ご存知ですか？ご活用ください！！

保育所職員の専門性と理念をより高めるとともに、保育所を適切な方向へ導くことを目的として、会員と支部に対し、保育協の承認する講座の受講および研究テーマの発表に向けた研修等に助成金を交付しています。

（交付対象事業）

- ①全国保育協議会が行なう**保育所長専門講座**
- ②全国保育士会が行なう**主任保育士特別講座**
- ③保育協各種研修会、四国ブロック保育研究大会、全国保育研究大会における**発表に向け、支部が実施する研修事業**
- ④その他**保育協会長が認めた**支部が実施する事業

（交付申請手続き）

上記①②の助成金の交付を受ける場合は、助成金請求書に修了証書を添えて保育協会長に提出する。

上記③④の助成金の交付を受けようとする支部は、助成金交付申請書により保育協会長に申請する。

（助成金の額）

対象事業	対象経費	助成金の額
① ②	受講料 (交通費・宿泊費は含まない)	受講料全額
③ ④	研修にかかる必要経費 (講師謝礼・旅費等)	100,000 円以内

愛媛県保育協議会HPでは、保育所でのできごと・こどものつぶやきを募集中です!



○愛媛の保育所・保育士の皆さまからの投稿を募集中!

ちょっとした、こどもの「はっ!」とするつぶやきでもOKです。

投稿された内容は、ホームページに掲載します。

皆さまからの投稿でホームページを盛り上げてください。

○応募の方法

①下記の保育所でのできごとをクリックの上ご応募ください。

②お名前などをご記入後、「題名」を「保育所だより」とし、お問い合わせ内容に「記事の内容」と「記事のタイトル」を記載し写真があれば写真を貼付けて「送信」してください。

※写真のファイル名は半角英数でお願いします。

③数日後ホームページにアップされます。



OHPアドレス <http://www.ehime-hoiku.jp>

その他ご活用を...

○各研修会後に提出いただいたアンケートを活用させていただきます。「えひめの保育」の中で、なるべく多くの皆さまの感想を掲載したり、質問等につきましては、愛媛県保育協議会や講師の方からご返答をしていきたいと思ひます。

○愛媛県保育協議会のホームページをご活用ください。各研修会で講演いただいた講師の方々のご紹介をのせていきたいと思ひます。各支部での講習会等の参考にいかがでしょうか!

○皆さまからの投稿もお待ちしております。ホームページをお持ちの保育園は是非掲載を!!

